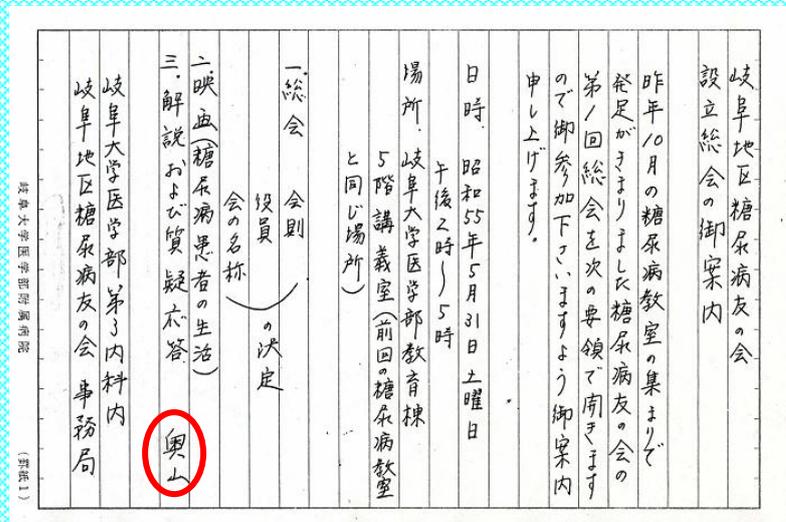


つかさ会 会報

つかさ会会員の皆様、こんにちは。

めっきりと冷えてきましたね。今年は残暑が厳しかったのですが、一転して秋模様です。空も高く、もうすぐ紅葉が楽しみです。秋のつかさ会講演会は30周年記念でバスを利用しての日帰り旅行を兼ねた講演会です。申し込まれた方は楽しみにしてください。

つかさ会は昭和55年に発足したわけですが、その当時に立ち上げられた医師およびスタッフの方を、私は残念ながら知りません。偶然にも今月号の『さかえ』P15に当時の中心的存在であった奥山牧夫先生が、日本糖尿病協会功労賞を受賞された記事が掲載されています。先人のご努力のお蔭で、今日のつかさ会が存在することを感謝いたします。



当時から会員であった方より資料を提供いただきました

今月号の「さかえ」では、“糖尿病で視力を失わないために(P8)”は、読まれたほうがいいと思います。糖尿病になったからといっても必ずしも眼が悪くなるわけではありません。しかし糖尿病の3大合併症といわれる眼合併症は怖いものです、明日から失明したら…不安一杯ですよね。“適切な時期に適切な治療を”本当にそう思います。

ところで、この『さかえ』が毎月届いている方は、つかさ会の会員です。つかさ会の会員は日本糖尿病協会の会員です。P58の“日糖協はこんな活動をしています！”も目を通して下さい。「糖尿病連携手帳(P38)の発行」「各地のブルーライトアップ企画(P31)」をはじめ、多くの活動を行っています。会員の皆様も何かの形で関わっていただければ嬉しいものです。講演会の参加でも、“読者のひろば(P34)”への投稿でも。(今月号の読者の広場へ投稿された匿名希望さんはうちの会員の方かな…って勝手に考えております。)これからもどうぞよろしくお願いいたします。